

令和8年9月1日発行



見附中学校

前期学校評価だより

<入学式>



<友和会総会>



<運動会チーム色決め>



<防災学習(1年生)>



<職場体験(2年生)>



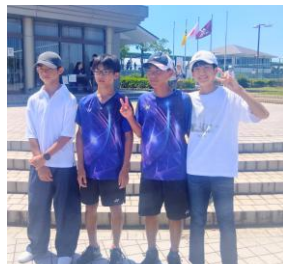
<上級学校訪問(3年生)>



<全国大会出場(陸上競技部)>



<北信越大会(男子ソフトテニス部)>



<民謡流し>



令和8年度の学校経営方針【未来を共に創る～仲間と共に 保護者と共に 地域と共に 教師と共に～】、友和会スローガン【開花 ～笑顔満開 咲き誇る 見中～】のもと、<知>、<徳>、<健>の3部会においてそれぞれ重点を置いた諸活動に1学期間、取り組んできました。

1学期末に行った学校評価アンケートの結果をもとに、3部会それぞれの取組の総括と今後の方針をお示しする「前期学校評価だより」を発行いたします。ぜひご覧いただき、見附中学校の生徒たちの輝かしい未来に向けて、引き続きご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

<知>仲間と共に、深く学び、未来につなぐ。

今までの取組

目的に応じてアナログとデジタルを有効活用しながら、仲間と共に学び、多面的な考え方を身につけ、深い学びへとつなげています。終学活では、授業の振り返りやテーマに沿ったスピーチをペアで行い、対話を大切にしています。教科ごとに主体的に向き合う価値のある課題を設定し、学びの到達度を振り返ることで、自己の学びを深める授業づくりに励んでいます。



対話する姿

アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 学習ツールを自分自身で選択し、課題に正対して、調べたり、話し合ったり、工夫して表現・制作したりすることができた生徒の割合	90%以上	95%	A	できた：51.4%
2 課題を解決するために、友達との話し合いを有効に使えた生徒の割合	90%以上	94%	A	できた：61.7%
3 振り返りをしながら自分の力を伸ばそうと、意欲的に課題に取り組むことができた生徒の割合	90%以上	89%	B	できた：44.3%
4 「やってみたい」「考えてみたい」「話し合ってみたい」と感じられる課題を追求し、振り返りをしながら学びを深めようとした生徒の割合	90%以上	85%	B	できた：43.2%
5 単元の途中で振り返りを行い、今後どのような学習が自分自身には必要か自己調整をしながら学習できた生徒の割合	90%以上	97%	A	できた：64.5%

分析と今後の方針

すべての項目で肯定的な評価が85%を超え、1・2・5の項目はA評価でした。多くの生徒が授業に前向きに取り組み、仲間と共に学び合い、課題に挑戦しようとしていることがわかりました。

今後は、意欲的に学習したことを振り返る場を設定し、自分の力の伸びを実感することで次の学びにつなげていけるようにしていきます。第2回定期テストは11月に行われます。自分自身の生活を振り返り、今やるべきことを考えて、行動していけるように支援をしていきます。

<徳> 自他を尊重し、共に高め合い、未来を創る。

今までの取組

互いのよさを見つけて伝え合うことで自己肯定感を高める「ジブサガ」に取り組みました。また、今年度は全校で「クラス会議」を実施しています。学校生活や学級の課題について話し合い、みんなで決定した解決策を実践することで、よりよい学級・学校生活を自分たちの手でつくろうとする意識を育てています。

さらに、地域とのつながりを大切にしたい取組も進めています。学校運営協議会には友和会の本部役員生徒が参加し、学校や地域の課題について協議しています。さつまいもの栽培では、全校からボランティアを募り、5月に苗植えを行いました。育てたさつまいもの活用について、全校生徒へのアンケートや地域の方々との協議を通して検討していきます。また、今年度も「友和祭」を実施する予定です。自分たちのアイデアを生かして、全校生徒で大きな成功体験に繋がりたいと思います。

クラス会議



さつまいも作業



アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 自分の住んでいる地域や見附に愛着を持っている生徒の割合	80%以上	91%	A	もっている：62.8%
2 人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合	80%以上	97%	A	思う：79.8%
3 自分にはよいところがあると思う生徒の割合	90%以上	82%	B	思う：42.1%
4 友達の良さを理解し、認め合って活動できた生徒の割合	90%以上	99%	A	できた：68.3%
5 自分が成長できたと感じた生徒の割合	90%以上	95%	A	できた：60.7%

分析と今後の方針

項目1・2・4・5がA評価となりました。仲間と共に畑づくりを進めたことやボランティア活動への参加、生徒が主体的に生徒会活動を企画・運営したこと、また、ジブサガやクラス会議を通して仲間のよさに気づき、認め合う経験を積み重ねたことが、今回の結果につながったと考えています。一方、項目3はB評価でした。「自分の成長を実感できた」と回答していても、「自分にはよいところがある」と実感できていない生徒もいます。2学期に実施する運動会やMMF等の学校行事を通して、チームや学級のために努力し、貢献する自分自身の姿に目を向ける機会を大切にしていきます。こうした経験を積み重ねることで、自分の成長だけでなく、自分のよさにも気づき、自信をもって学校生活を送ることができる生徒を増やしていきたいと考えています。

<健>自分に向き合い、自ら高める。

今までの取組

昨年度に引き続き、毎日の生活を「健幸」で価値あるものにしていくため、「マネジメントシート」を活用し、自分の生活を振り返り、目標を立てて実践する取組を進めてきました。これまでの生活習慣や時間の使い方を見直すとともに、よりよい生活につなげる活動を行いました。また、学校での取組を家庭での実践にもつなげられるよう、こうした取組を通して、生徒一人一人が自分自身の生活に向き合い、自ら目標を設定し、よりよい生活をつくっていかうとする力を育てています。



マネジメントシート

アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 自分の実態に合った生活目標を立てることができた生徒の割合	80%以上	88%	A	できた : 41.0%
2 生活目標に近づくために努力したり工夫をしたりできた生徒の割合	80%以上	85%	A	できた : 41.0%
3 振り返りをして自分の生活を見直すことができた生徒の割合	80%以上	84%	A	できた : 40.4%

分析と今後の方針

3項目すべてでA評価となり、多くの生徒が自分の生活に目標をもち、その達成に向けて努力や工夫をするとともに、振り返りを通して自分の生活を見直すことができていることが分かりました。自分自身の生活に向き合い、よりよい生活を自らつくっていかうとする意識が高まっています。

一方で、目標を立てたり振り返ったりすることを継続し、実際の生活習慣の改善につなげていくことが今後の課題です。2学期以降も、日々の生活を振り返り、自分に合った生活を自らマネジメントする力を育てていきます。また、学校と家庭が連携し、生徒への声掛けや見守りを継続することで、よりよい生活習慣の定着につなげていきます。